



第67号  
9月定例会  
平成26年10月20日

こんにちは

# 豊丘村議会 **です**

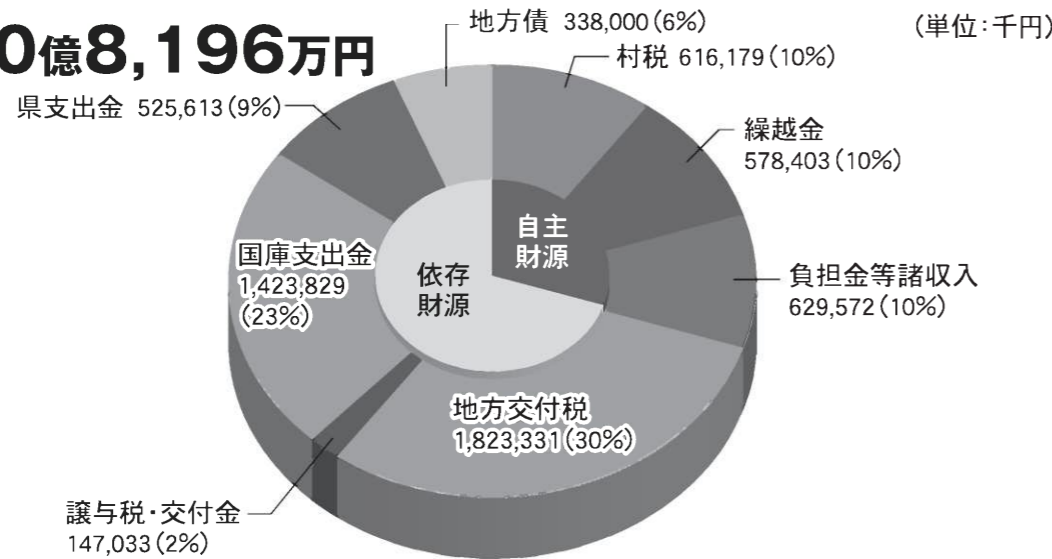


9月定例会の様子 ..... 1~2ページ  
 決算・予算委員会質疑から ..... 3~6ページ  
 11人が一般質問 ..... 7~18ページ  
 委員会の報告 ..... 19~21ページ  
 追跡 ..... 22ページ  
 みんなのページ ..... 23ページ

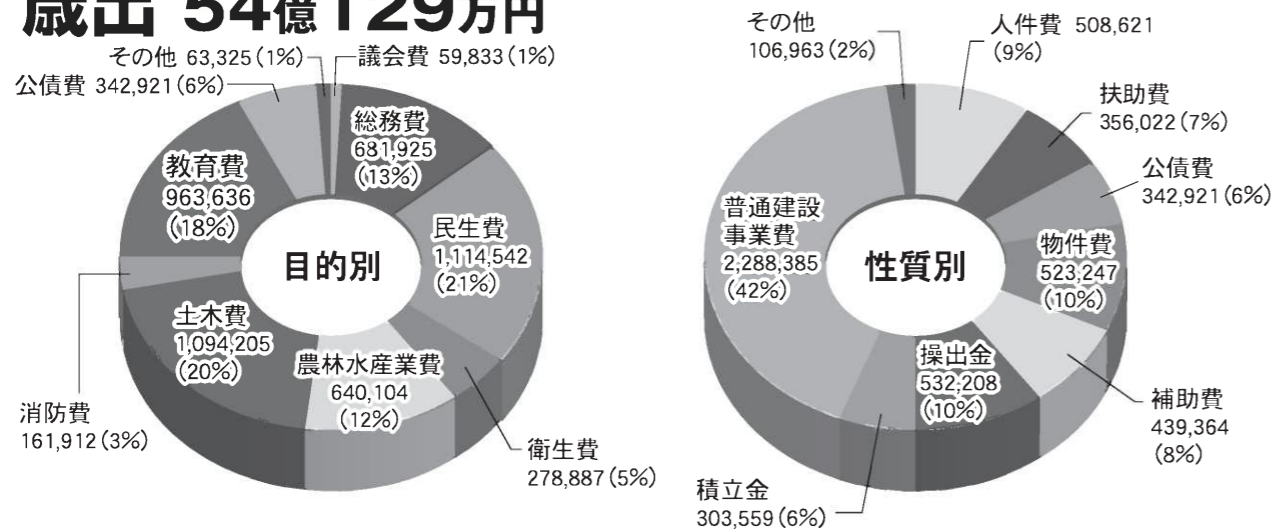
**かいつぱい** 輝丘祭運動会

# 平成25年度一般会計歳入歳出決算は

歳入 60億8,196万円



歳出 54億129万円



## 各会計の決算は

会計	歳入	歳出
一般会計	6,081,960	5,401,290
国民健康保険特別会計	511,750	497,496
後期高齢者医療特別会計	64,673	64,610
介護保険事業特別会計	765,966	751,205
簡易水道特別会計	247,713	224,017
下水道事業特別会計	353,578	328,383
<b>合計</b>	<b>8,025,640</b>	<b>7,267,001</b>

# 25年度決算認定される 史上最大規模の決算となる

## 財政状況は引き続き安定

### 第3回定例会

平成26年第3回定例会は、9月2日から22日までの21日間の会期で行われました。開会日に補正予算(案)6件、25年度決算認定6件が上程され、それぞれ予算委員会及び決算委員会へ付託されました。最終日には、補正予算3件が追加提案され、即決となりました。補正予算は開会日に提出された一般会計の第3号が一部修正された他は、全て原案通り可決されました。また、決算6件も全て認定となりました。請願1件と陳情2件が提出され、それぞれの所管委員会に付託審査の上、本会議で採決の結果、請願は不採択、陳情は採択されました。

### 25年度決算の概要

25年度は、大型事業に取り組んだこともあり、歳入歳出とも過去最大規模となりました。実質収支額は、前年度より1億3574万円増加し、6億6145万円、経常収支比率は0.2%改善、実質公債費比率、将来負担比率も更に改善され、引き続き村の財政は健全運営されている状況となっています。(3ページ参照)

### 25年度の主要な事業は

◎交流学習センター「ゆめあるて」建設  
…7億3411万円  
24年度で設計と用地購入が行われ、25年度に本体の建設がされました。  
公民館の機能と図書館を併設した立派な施設で、今後の有効活用が望まれます。  
なお、外構工事は26年度で施工され、10月に竣工式が行われる予定となっています。

◎村営住宅16戸整備される  
…4億494万円  
数年前より、山田・林里・中芝地区で建設してきた定住促進子育て世代向け賃貸住宅を、中部三、八王子1、同2、大柏の4団地計16戸を建設しました。

◎豊丘村初の特養に補助金  
…1億7590万円  
第5期介護保険事業計画(平成24年度～26年度)で計画されていた地域密着型小規模特別養護老人ホーム(29床)が、社会福祉法人「林の杜」によって建設され、村は国・県の補助金に8500万円上乗せして助成しました。なお、半額の4250万円は26年度での支払いです。

◎村道の改良進む  
…3億9502万円  
村内各地区の村道が改良されました。主な路線は、佐原線、河野新田横断線、熊の川西線等で国の交付金を受けています。



# 補正予算の質疑から 田村村営駐車場、廃止でなく存続を

片桐(眞)議員 田村の村営駐車場は、契約満了時に駐車場を廃止し、現状回復するというが、いつから使用できなくなるか。  
産業建設課長 今年の12月31日で20年の賃借期間が終了する。商工会とも協議を行い、田村商栄会の現状からその役目は終えたと判断した。年末までに前の状態に戻すため、トイレ舗装撤去費用など20万円余を計上した。  
唐澤議員 返還となると公衆トイレも使えず利便性が落ちる。現状回復には多くの費用がかかる。現在、近くの商店従業員が駐車しているが、応分の負担を考えている。転貸利用者の利用料を合わせる。村の年間負担額56万円が約6割になる。

## 田村駐車場将来を見据え存続を

継続は村民合意が得られない

川野議員 大変に好評なふるさと納税の現状と、お礼品の調達先はどこか。  
総務課長 納税方法をカード決済とするなど工夫した結果、現時点で1億4千万円ほどになっている。お礼品は、松茸以外は「たいち」を基本としている。松茸は森林組合と浅井商店で調達している。  
唐澤議員 松茸以外のお礼品の希望状況と今

らうなどを考えないと村民の理解が得られないのではないか。  
下平議長 今後、リア時代を見据えたときに中心部の駐車場も必要になるのではないかと将来をみて慎重に考えるべきだ。  
(全議員の発言があり、存続となりました)

## ふるさと納税の状況とお礼品は

現在1億4千万円余、お礼は豊丘産品  
後の見直しはどうか。  
総務課長 寄付金額によってお礼品の品目と数量が選択できる。希望件数は、桃2960件・梨1266件・ぶどう1619件・松茸632件・豚肉426件で、これらの申込は締め切った。今後はりんご・市田柿・餅となり10月末で締め切る。残りはすべて来年度扱いとなる。



存続か、廃止か、議論となった村営田村駐車場

## 山ぶどうワイン振興計画の詳細は

酒井議員 県の元気づくり支援金280万円を受け、山ぶどうワインの振興計画がある。詳細説明を。  
産業建設課長 4年前から廃止した梨棚を活用して山ぶどう栽培を始めた。山ぶどうワインの製造販売をしてきた。今回、県の支援金を受けてワインシンポジウムの開催や、パン・クッキーなど多様な製

# 26年度一般会計補正予算を修正可決 村営駐車場の返還整備費を削除

## 1 一般会計補正予算

・補正額  
9674万円の追加  
総額  
47億350万円  
付託された予算委員会で活発な審査が行われ(P4参照)村営田村駐車場返還の是非について多くの意見が出される中、継続して駐車場とすべきとの結論に達し、返還に伴う整備費(公衆トイレ撤去費用他)を全額削除した予算委員会修正案を可決し、本会議でも全会一致で修正議決しました。  
歳入は  
ふるさと納税制度による寄付金が1億7200万円と大幅増となった他、地方交付税普通分確定による3633万円で、普通分としては総額16億933万円となり、前年度とほぼ同水準となりました。

歳出の主なものは  
◎ふるさと納税制度による寄付者へのお礼品  
：5650万円  
1万円以上の寄付者に「豊丘村ふるさと特産品」をお礼として贈るものです。寄付金額に応じて品数が決まっていますが、全て豊丘産で桃、梨、りんご、ぶどう、干柿、松茸、豚肉、切餅です。  
寄付件数は、約5600件です。  
◎北保育園々舎増設の設計料  
：500万円  
入園児が増えている北保育園で今年度プレハブ園舎を園庭内に設置して対応しています。が、用地の確保ができ次第27年度で新園舎を建設する予定です。  
◎雇用対策費として  
：1500万円  
事業費の全額が県費補助の緊急雇用創出事業です。

人件費の他、事業実施に必要な諸経費も補助対象となるもので、村内4社から8名の希望があります。  
◎山ぶどうワインを村の特産物に  
：430万円  
山ぶどうを使った商品の開発(ワイン、クッキー等)のための機械器具の購入や、ワインシンポジウム開催費用等に充てるもので、県の元気づくり支援金で23が補助されます。  
◎鬼面山登山ルートの整備に  
：175万円  
これまでのルートに加え、新たに新九郎の滝ルートの中より、下鳥帽子岳からのルートを整備するものです。  
◎太陽光発電設置が増加  
：300万を追加  
現在までに26件が設置され、問い合わせでも5件と増え続けているので補助金の予算を追加するものです。

## 用語解説

…25年度決算(P1)の参考にして下さい  
◎経常収支比率  
財政構造の弾力性を判断する指標です。人件費、公債費など義務的経費の割合が高く、政策的な支出が少なくなる程数値が上昇します。通常70〜80%が適切な数値とされています。(73.1%)  
◎実質公債費比率  
一般会計と特別会計を加えた公債費(利子も含めた借金の返済金)の、標準財政規模(標準的な水準の行政を行うための予算規模)―豊丘村ではおよそ25億円)に対する比率です。(5.5%)  
3ヶ年平均数値で示されます。  
◎将来負担比率  
一般会計と特別会計の将来負担すべき公債費から基金(貯金)を差し引いた額の標準財政規模に対する割合です。  
豊丘村では、基金の方が多く数値はマイナスとなります。(△20.6%)

## 9月議会請願・陳情について

- 請願 (21P 参照)
  - 交流学習センター「ゆめあるて」土足禁止の請願 (不採択)
- 陳情 (20P 参照)
  - 地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の期限延長を求める意見書提出に関する陳情 (採択)
- 陳情 (20P 参照)
  - 自主・自立を基本とする農業協同組合の維持・発展に関する内容を政府へ働き掛けを求める陳情 (採択)

# 水道料の滞納者への給 “分納誓約の不履行は

# 水停止は =決算質疑から= 給水停止も行なう”

## 村税の差押え状況は

|| 預金含め25件行った ||

唐澤議員 村税の滞納分について差押えと換価の状況はどうであったか。また、県の滞納整理機構への処理依頼は行ったか。

唐澤議員 水道料の未納者数は、また、分納誓約を履行しない場合はどうするか。環境課長 未納者は65人。内15名に納入か、分納誓約がない場合は給水停止をする。

## 戸建村営住宅の入居状況は

|| 4団地16戸の内3戸が未入居 ||

大原議員 25年度に建設した13戸の戸建村営住宅の入居状況と、横浜、ゴム(株)従業員の入居戸数は。

の内、八王子2団地で1戸、大柏団地で2戸、計3戸が未入居となっている。この内、横浜ゴムの入居戸数は4戸となっている。

## 食事代補助の受給状況は

|| 村外施設で請求漏れある ||

川野議員 通所介護サービスを受けた場合の1食200円の食事補助について、宅老所「どんつく」はどのよう

な状況になっているか。また、一時心配した利用状況はどうか。健康福祉課長 宅老所「どんつく」の食費補助は165日分の3万3千円となっている。



3棟のうち2棟が入居を待つ大柏団地

松下議員 大柏団地については入居が進まないようだが、何らかの入居対策はとるのか。

村長 当面は現在の条

**用語解説**  
「特別短期入所」とは、介護保険の適用外で、法事、介護者の病気など突然の事情で家庭において介護できない場合に緊急入所ができる制度。

## 猿の出没状況と対策は

|| 檻の設置で駆除を検討中 ||

松下議員 猿の出没による農産物被害や児童への危害が喫緊の課題。昨年度の狩猟結果と現在の状況は。

産業建設課長 昨年度は河野の滝川で何回か群れを確認している。狩猟は1頭を銃により駆除した。最近になり堀越の駒沢地籍で約10頭の群れを確認した。対策としては、10戸四方の檻を設置してそこに追い込んで駆除する方法が有効とされている。2、3か所に設置する方向で地元と協議したい。



有効活用が待たれる中学校東斜面

## 花木管理状況と有効活用策は

|| 専門家の助言を得て予算計上する ||

唐澤議員 中学校東側の斜面は、23年度に村で花桃など植栽し、昨年度は72万円余で草刈りを委託管理した。その契約方法と内容は。

また、せっかく植栽したのだから枯死させないようしっかり管理すべきだ。

## あさぎりの郷、特別短期入所は可能か

|| まだ実現されていない ||

川野議員 特養あさぎりの郷は、平成14年度に豊丘村でも1億4千万円を拠出して特別短期入所の2部屋も使えるようにした。ところが、職員配置の経費問題などでまだ使えない状況になっていないと聞く。その後の経過はどのようになっているか。

管理されたい。吉川議員 ある施設が、花火が見えないからとの理由で銀杏の木を伐採したとの話がある。やり方が少し乱暴ではないか。今後の参考に。

井原議員 あの場合には、建設時に県の補助金交付要綱をしっかりと確認せずに、特別短期入所の部屋を

村長 現在も当初の使用目的は実現できていない。当時を知る県の関係者からは、建設時に県の補助金交付要綱をしっかりと確認せずに、特別短期入所の部屋を

※「特別短期入所」は前頁の用語解説参照

# 村は区に頼りすぎていないか

## 答 住民主体の活動も地域には大切

川野孝子議員



質問 村が、区や自治会等にいろいろ取り組みを押しつけているという村民からの声を村長としてどう思うか。

村長 本年度スタートした多面的支払いについても区の人たちには大変お世話をかけている。また、健康推進員も昨年から始めた。村民の健康のために始めたが、結果として自治会の皆さんの負担が大きくなっている。村としてもできる限りのフォローをしていきたいと考える。地域というものは住民主体で動いてもらうことで盛り上がり活性化につながることも考える。

質問 区が多目的にお金を使える制度を何か考えているか。

村長 自らつくる地域づくり交付金というのがあり、これは実際には区や自治会からの応募が多い中で、今年度中はそれをしっかり使っ

てもらいたい。

来年度に向けては、中山間地域の交付金について検討してみたい。

質問 中山間地域の交付金は、山間地域の人たちが少ない世帯数と高齢化の中で、大変な思いで地域を守っていることに對して1戸1万円を区に交付するものだが、交付の対象になっていない地域でがらばっている所もあり、不公平感が生じないか。

村長 不公平感というものについても当然考慮していきたい。

質問 現在、豊丘村内には、一級河川が11あり、草刈り等は地域住民の出役で行われている。高齢化の進む中、危険も伴うと思うが何か手だてはないか。

産業建設課長 一級河川の管理者は県である。普通の草刈り等は予算の関係で対応がむずかしい。危険な法面や足場の悪い所等、地域か



共同作業前の河川

らの要望もあり一昨年あたりから現場を確認しながら専門の業者に依頼をしている。

質問 村長は区、自治会等が取り組む自らの充実や、中山間地域の交付金等の増額についての考えを示したが、

一般財源のやりくりを考えると他の事業への影響は何か考えられるか。

総務課長 制度を始めるといふ事は単年度で終わるものではないので複数年やって効果を検証していかなければならぬ。新たな事業

を作ったことで廃止の事業も出てくるかも知れない。費用対効果、すべてをみながら補助金制度の導入については検討する方策をとっている。



① 川野 孝子 議員 (8ページ)  
・行政と区、自治会等の関わりについて

② 酒井 浩文 議員 (9ページ)  
・リニア中央新幹線着手に向けた村の取り組みについて

③ 大原 千賀子 議員 (10ページ)  
・特殊詐欺被害対策について  
・日赤奉仕団について

④ 吉川 明博 議員 (11ページ)  
・ふるさと納税制度について  
・人口増加の補助事業について

⑤ 片桐 秀人 議員 (12ページ)  
・仮称福島公園建設の進捗状況を伺う  
・集団的自衛権行使容認閣議決定に対する村長の見解を伺う

⑥ 片桐 眞理子 議員 (13ページ)  
・若者の社会参加について  
・AED、心肺蘇生法の講習について  
・防災マップの活用について

⑦ 唐澤 啓六 議員 (14ページ)  
・広報事業(有線放送)のあり方について  
・下水道使用料徴収条例の改定について  
・リニア工事によるトンネル残土処分地について

⑧ 井原 康明 議員 (15ページ)  
・村内の通学路について  
・村道「ビヤ沢線」について  
・村内河川の監視カメラについて

⑨ 前沢 光昭 議員 (16ページ)  
・住宅リフォームについて  
・25年度決算について

⑩ 松下 亨 議員 (17ページ)  
・職員の定員管理について  
・住民自治の推進について

⑪ 松村 正三 議員 (18ページ)  
・再編後の健康福祉課と教育委員会の現状と今後について



# 特殊詐欺を防ぐ村の対策は

## 答 広報チラシ等で注意喚起



大原千賀子議員

県警による今年の認知件数は8月末で120件、被害額7億円。一番多い詐欺は、未公開株社債・老人ホームの権利・架空のもの、餌にもうかります被害。村内では、昨年架空請求1件、儲かります詐欺2件、合わせて300万円を超える金額。金融機関でも、水際

### 特殊詐欺非常事態宣言

《電話対策をしましょう》  
～犯人からの電話に出ない。受けない。これが1番～

- 留守番電話設定  
相手を確認してから電話に出られます。たとえば「詐欺の電話をさけるため、留守番電話にしています。」等と設定してください。
- ナンバーディスプレイ  
相手の電話番号を確認してから電話に出られます。契約している電話会社に相談してください。
- 非通知電話拒否設定  
犯人の多くは番号非通知でかけてきます。契約している電話会社に相談してください。
- 特殊詐欺対策用機器  
専用機器があります。電気商業組合に相談してください。

《この言葉は詐欺》

- トラブル解決のため、至急、現金が必要
- 必ずもうかる
- ロト6の当選番号を教える
- を巻いてほしい
- レターパックや宅配便で現金を送れ

長野県警本部（警視安全相談窓口） #9110  
消費生活センター（消費者ホットライン） 0570-064-370  
長野消費生活センター 0268-223-6777  
松本消費生活センター 0263-40-3660  
飯田消費生活センター 0265-24-8058  
上田消費生活センター 0268-27-8517

長野県／長野県警察  
長野県防犯協会連合会

8月31日に  
行われた炊  
き出し訓練  
の様子。  
健康福祉課  
長 4月現  
在の加入状  
況は648  
人、加入率  
32%。この  
5年間で72  
人減少。  
31日の炊  
き出し訓練  
は、佐原は

は、必要となつた時点で設置するべきと考える。  
質問 具体的な地域の将来像を描く必要がある。開通後を見据えた地域づくり計画をどう展開していくか。具体的な議論の場となる住民参加の「リニアを活用した地域づくり検討委員会」設置は。  
村長 リニア工事が始まると、この地域だけで約1兆円のお金が動く。他にも駅を取り巻く道路改良等のインフラ整備も進む。同時にソフトの充実も重要になる。リニア開通によりこの地域が大きく変わる。マイナ要素をプラスに転化していくことも村長の仕事だと思っっている。利用して、どんな地域にするか、いろいろなアイディアをいただきたい。リニアを活用した地域づくり検討委員会は今後、あるべきと思う。

# 住民参加のリニア対策委員会設置は

## 答 工事の進捗により検討する



酒井浩文議員

質問 JR東海は8月26日、リニア中央新幹線環境影響評価書の最終版と、工事実施計画を国交省に提出した。国の認可後10月にも事業着手するという。着手後の課題解決や地域づくりに向けて行政が果たす役割と責務は。  
村長 認可が下り必要な手続きを経た瞬間から、凄まじい勢いで情報が飛び交い動きだすと思う。水枯れやトンネル発生土の問題、工事による環境悪化の問題等、想定される多くの問題が、今後計画されている説明会の中からも上がってくると思される。最善の努力により住民の不安をできる限り取り除き、工事の進捗を見守ることが責務である。  
質問 今現在のリニア対策の取り組み状況は。  
総務課長 トンネル工事による水枯れが予想されるため、発生時に

対応できるデータ収集として、水量調査・水質検査（トンネル予定ルート左右1kmの範囲内の表流水46カ所を今年4回、横井戸等の地下水16カ所を毎月）を村単独事業で実施している。また、トンネル発生土の処分地の選定、決定については、候補地が適しているか、埋め立て後に災害が発生しないか等、現地調査等を行っている。  
発生土の処分地は未確定ではあるが、村内の一般道を工事用車両が通行することが想定されている。この車両による騒音や振動、交通渋滞や通学路等の環境保全に関する課題など、今後住民の皆さんとも協議し、JRと調整していく。  
質問 着工後のスケジュールは。  
総務課長 村がJRから説明を受けた内容は以下のとおり。

- ①国土交通大臣の工事計画書認可(10月予定)
- ②事業説明会(豊丘村1カ所を村民に対する全体説明会)
- ③路線中心線測量に向けた地元と地権者に対する説明
- ④路線中心線測量
- ⑤用地測量と用地取得
- ⑥地元に対する工事説明会(伴野・佐原・福島・壬生沢の4地区で実施予定)

認可から用地測量まで概ね1年程度、実際に工事が始まるのは2～3年先と予想される。  
質問 着工後の意見交換と、情報共有の場の持ち方は。具体的な情報共有と議論の場となる住民参加の「リニア対策委員会」設置は。  
村長 工事に従事する人たちが、JRに対して直接意見は伝えにくい。工事の進捗状況に



発生土処分候補地の視察

見ただけでなく、電話の傍に置く、電話も留守番にする、番号表示できる電話にするなど、隣近所声かけあつて被害にあわないようにしたい。  
村の青パトを使って街頭での喚起は。産業建設課長 今は青パトは考えていないが検討する。

## 日赤奉仕団員減少の歯止めは 答 区のなかで話し合いをしている

質問 奉仕団員が26年度も減っている。今回で3回の質問になるが、研究、検討すると返答されたが、その後の対応と加入状況は。また、8月31日に  
行われた炊  
き出し訓練  
の様子は。  
健康福祉課  
長 4月現  
在の加入状  
況は648  
人、加入率  
32%。この  
5年間で72  
人減少。  
31日の炊  
き出し訓練  
は、佐原は

# 福島公園(仮称)の進捗状況は

答 10月初旬 業者選定したい

片桐秀人議員



福島公園(仮称)からの眺望

質問 仮称福島公園の建設の構想は、平成22年の地域づくり策定の時に始まっている。村にとつては小さなことだが、福島区にとつては大きな問題である。福島地区の一番の高

地とも言える。昔から「てっぺん」と地元では呼ばれた地籍で眺望が素晴らしい。公園にして福島をアピールしたいのが区民の願いとなっているが進捗状況は。



福島公園(仮称)建設予定地

はできないか。

村長 村としては総額いくらにするか確定しているわけではない。地元の皆さんの意見を聞いて整合をとりたい。その中で金額が決まってくると思う。管理費については村内の公園と同程度と考えている。あの地は村の中で非常に眺望の良いところなので、豊丘村のひとつの売りの切り口にするよう力を入れていきたい。

産業建設課長 所有権は村の名義にするのが基本だが、今後地区の皆さんと協議したい。質問 管理費についてはどう考えているか。産業建設課長 他の公園と同様区となるが、助成対象と考えている。質問 建設費は大枠3千万円と聞いているが、地元要望からすると不足となると思うが増額

質問 議会では「集団的自衛権行使反対」の議決をしているが、村長の考えを伺う。村長 私の立場ではいくつかの新聞を読んで、そのセンターを見極めていくのが必要と考えている。質問 来年は統一地方選である。この結果は

政局に大きな影響を与えると思う。その意味でこの質問をしている。来期も村長選に出馬するとすれば、この問題は重要な選択肢となる。来期はどうするか。村長 今月中に私の後援会総会があるので、その中で方向を考えて行く。

# ふるさと納税制度の状況は

答 今年度は1億4千万円(8月末現在)

吉川明博議員



質問 国策であるふるさと納税制度の今後の方向と位置づけは。村長 素晴らしい制度と思う。多くのぶどう、桃、梨、りんご、干し柿、餅、松茸を返すことが



ふるさと納税の返礼品として大人気

質問 ふるさと納税の状況は。総務課長 今年度はクレジット納付の方式を取り入れ、お礼の品を充実したことにより、件数・金額が飛躍的に伸び、8月末現在で5600件、1億4千万円。スタートの平成20年は99件で210万円余。21年は43件で135万円余。22年は62件で185万円余。23年は126件で267万円余。24年は221件で555万円余。25年は259件で780万円余。総計は6410件で1億6132万円余。

質問 6千人の状況は。人たちが友達に言っていた、さらに増やし、村の発展に協力をお願いしたい。質問 ふるさと納税をした方の、地元での税金が控除される仕組みの説明を。総務課長 法律上は寄附金、ふるさと寄附金控除とされている。寄附された方の所得や寄附金額により、一定の限度額が設定されるが、税金の確定申告で寄附金のうち2千円を超える部分のほぼ全額が、所得税と県民税・村民税で控除される。

総務課長 総務関係では、定住を図り人口流出を防ぎ流入を上げるための施策は住宅政策である。健康福祉課長 健康福祉課では子育て支援策をはじめとした補助事業。教育委員会、あるいは子ども課の所管する多くの事業。18歳未満の方、それ

質問 多くの施策を講じているが人口は減り続けている。一日も早く他の市町村にはない独自の施策を講じるべきだ。村長 子育てをするのなら豊丘村だと言われるようにしたい。リニアの関係でも人口が増えてくる。今から

村長 村としては総額いくらにするか確定しているわけではない。地元の皆さんの意見を聞いて整合をとりたい。その中で金額が決まってくると思う。管理費については村内の公園と同程度と考えている。あの地は村の中で非常に眺望の良いところなので、豊丘村のひとつの売りの切り口にするよう力を入れていきたい。

## 人口増加策の補助事業は各課で各種の事業がある

質問 人口を増やすための政策の主なものは何か。総務課長 総務関係では、定住を図り人口流出を防ぎ流入を上げるための施策は住宅政策である。

質問 寄附を受けた豊丘村が受け取る地方交付税の金額が減らされるのではないか。総務課長 地方交付税は、税金等を中心とした収入額と人口等に応じた支出額の差がどれほどか比べて、その差額を地方交付税として交付される。

交付税の原資は、法人税・所得税等の国税の一定額を、ルールに従って国が地方に分配する。豊丘村の交付税は約16億円程度。今年度ふるさと納税で2億円の収入があっても、制度的には別もののため交付税算定上の収入額に見込まれて交付税が減ることはない。

# 有線放送の自主性は確保すべき

## 答 政治に関わる番組は村長の判断を仰げ

唐澤啓六議員



**質問** 本年5月25日に松本市で開催された脱原発に関する講演会(静岡県湖西市三上市長)の村民からの持ち込み録画を、6月30日に有線で放映したところ、村長が担当者に注意し以後の放映中止を指示したと聞いている。

「脱原発」は、そこまでのプロセスこそ様々な意見はあるが多くの国民の願いであり、この講演も松本市と同教育委員会が後援している。

広く情報を提供するという広報活動の役割と、放送番組の選択は広報担当者の自主性を尊重する見地からみて、この村長の指示は不当である。

事実経過と村長の見解は。

**村長** 放映した当日の夜、番組を見て公共放送で流すことについて、担当者になぜ起案をあげて相談しなかったと

電話した。このような放送は必ず相談をかけること、勝手に相談しなかったことはまずかつたとも話した。

**質問** リニア中央新幹線工事によるトンネル掘削残土の処分地については、関係市町村が県の担当部署へ提案しており、今回の環境影響評価書に記載されている。多くの候補地は山林のくぼ地であり、豊丘村の予定地も蛇川流域最上部の山林の間である。225万㎡の膨大な土砂が豪雨時に下流へ流出することがあれば、林里や北入上村地区への大惨事は避けられない。

下流域の安全と住民合意なしに処分地とすることは許されない。県への提案は取り下

げると考えるが。子ども、若者が参画できる仕掛けを考えていく。

**教育長** 今年度、公民館祭りを開催し、発表の場を設定する予定。

**質問** 近年の集中豪雨により土石流は、どこで起きてもおかしくないとされている。村でも防災マップが作られていて自分の住んでいる地域の弱点がわかる。これを活用し日頃から準備に役立ててもらいたいと思うが。

**村長** 飯田下伊那地域はどちらかというと集中豪雨が心配される。マップをその避難訓練に活かしていく。集中豪雨の場合、行政はフォ

しかし、放送は当初から1日のみの予定だったので、中止をさせたということはない。

**質問** リニア中央新幹線工事によるトンネル掘削残土の処分地については、関係市町村が県の担当部署へ提案しており、今回の環境影響評価書に記載されている。多くの候補地は山林のくぼ地であり、豊丘村の予定地も蛇川流域最上部の山林の間である。225万㎡の膨大な土砂が豪雨時に下流へ流出することがあれば、林里や北入上村地区への大惨事は避けられない。

下流域の安全と住民合意なしに処分地とすることは許されない。県への提案は取り下

**質問** 下水道使用料徴収条例では、世帯毎の基本料金を課している。2世代同居しており、風呂、トイレ等は共用

**答** 従量制への移行を含め検討したい

しているが世帯は分離している場合、基本料金をそれぞれの世帯へ課している。使用している公共マスも1個でなく、最適の地だと思っており取り下げつつも

あり、基本料金は1世帯分とすべきだ。条例の改定が必要と考えるが。

**村長** 下水道料金が2世帯分となっても、世帯分離した方がプラスとなるケースと思う。難しい問題なので、料金体系の従量制への移行も検討しながら、同時に良い方向へ持っていきたい。



本山更生会のリニア残土処分候補地

# 子ども、若者の社会参加は

## 答 参画できる仕掛けを考えていく

片桐真理子議員



**質問** 将来村を支えていく若者が、行政や地域とのかかわりを多く持つことで村に対する意識の高まりも強くなると思う。各種委員会等の審議の場に参画の働きかけを。また参画を進める上での課題は。

**総務課長** 総務、福祉産業部門など委員会があり、若者の参画もあるが、少ないのが現状。呼びかけをしながら対応をしている。

**質問** 村政懇談会に一部という形で小学生の意見発表をとり入れる考えは。また以前の方式の懇談会も加えるという考えがあるようだが。

**教育長** 小学生対象は考えていない。

**村長** 今後は全課長がそろってという懇談会も必要と考える。

**質問** 社会教育施設を活用し、音楽やダンスの発表の場をやることで、社会参画のきっかけ

防災マップの活用は

**答** 避難訓練に活かす

**質問** 近年の集中豪雨により土石流は、どこで起きてもおかしくないとされている。村でも防災マップが作られていて自分の住んでいる地域の弱点がわかる。これを活用し日頃から準備に役立ててもらいたいと思うが。

**村長** 飯田下伊那地域はどちらかというと集中豪雨が心配される。マップをその避難訓練に活かしていく。集中豪雨の場合、行政はフォ

子ども、若者が参画できる仕掛けを考えていく。

**教育長** 今年度、公民館祭りを開催し、発表の場を設定する予定。

**質問** 近年の集中豪雨により土石流は、どこで起きてもおかしくないとされている。村でも防災マップが作られていて自分の住んでいる地域の弱点がわかる。これを活用し日頃から準備に役立ててもらいたいと思うが。

**村長** 飯田下伊那地域はどちらかというと集中豪雨が心配される。マップをその避難訓練に活かしていく。集中豪雨の場合、行政はフォ

子ども、若者が参画できる仕掛けを考えていく。

**教育長** 今年度、公民館祭りを開催し、発表の場を設定する予定。

**質問** 近年の集中豪雨により土石流は、どこで起きてもおかしくないとされている。村でも防災マップが作られていて自分の住んでいる地域の弱点がわかる。これを活用し日頃から準備に役立ててもらいたいと思うが。

**村長** 飯田下伊那地域はどちらかというと集中豪雨が心配される。マップをその避難訓練に活かしていく。集中豪雨の場合、行政はフォ



自治会主体による避難訓練



# 住宅リフォーム予算復活を

## 答 もう少し考えさせて



前沢光昭議員

質問 3年間豊丘村で行われた住宅リフォーム助成事業が26年度は廃止になった。3年間の事業で経済効果は大変大きかったが、村長は一定の役割を終えたとの理由だった。その後に行われた商工問題懇談会などでも「たとえ規模が縮小されても継続してほしい」とか、関連業者などからも出来れば復活してほしいとの要望を聞いた。

当初予算の審議の中でも大変議論になったが村長は「今後の景気動向を見て判断する」との答弁。6月定例会の予算質疑の中でも「もう少し待ってほしい」との答弁だった。

4月から6月のGD Pはマイナス7.1%、個人消費は過去最悪の状況。①この状況での景気動向、業者の状況についてどう思うか。②年度途中での予算復活



リフォームが待たれる部屋

はあるのか。村長 その後景気が減速しているのは確かだが、基本的には想定内。ここに来て8月、9月の低温で夏場に温度が下がったということが景気の動向につながっている。温度が1度で5千億円という。産業建設課長 村内の建築業については、商工会でこのほど建設業を対象に増税後のアンケートを行った。紹介すると一部は減ったが、8割は変わらないとい

質問 25年度の決算状況は過去最高の決算額となった。基金については過去2番目に多い。①多額の基金今後の活用は。②もう少し予算充実すればという事業もあつたはずではないか。

# 基金は積極的に活かすべき 答えいざという時に

村長 ①基金は「いざ」と言う時のもの。経常的には使わないが、ふるさと納税を使って対応したい。要望 基金にばかり回すのでなく、事業の充実、住民要求の実現に回してほしい。



豊丘村の決算書類

# 村道ビヤ沢線の道路改良予定は

## 答 土木申請の地域優先にもよる



井原康明議員



道路改良が望まれる村道ビヤ沢線

質問 村内には3つの学校があり、それぞれの学校に通学する村指定の通学路は何箇所位か。  
教育委員会事務局長 数的には答えにくいですが、各校で安全な通学路を指定して、安全通学路マップを作成している。

教育委員会事務局長 通学路の条件があり、横断歩道・信号機・人家・防犯灯などがあり、転落や犯罪など危険性が低いものとしている。村道ビヤ沢線については、休耕田もあり草の多い場所指定にはなっていない。

質問 通学路などが土木申請されている場合、事業実施はある程度優先されるか。  
産業建設課長 道路改良修繕などの土木申請

質問 村内河川の監視カメラは何を監視しているか。  
総務課長 住民の皆さんへの避難準備の情報提供であり、水位を監視している。

質問 村道ビヤ沢線は、通学路の指定はされていないが、学校や田村市田駅への近道として多くの生徒や社会人が通学通勤に利用している。また、除雪や道路管理は地区で行っている。土木申請の前に村で改良を行う予定はあるか。

産業建設課長 ここ4、5年位は申請が出ていない。舗装などは積極的な地域の要望なくして土木事業ではできない。要望 地区の担当者に申請の件を伝えるので、道路改良について前向きにお願いしたい。



河川監視が必要と思われる蛇川堰堤

# 健康推進は雰囲気づくりが必要では

## 答 推進員に負担がかからぬ活動で

松村正三議員



**質問** 健康維持や増進は、推進員の皆さんの重荷にならぬことを基本としながらも、その皆さんの活動により、健康意識の高揚が計られることが重要。

**答** しかし、まずは健康行政への意見交換などで、村民の中に健康問題に対する要望がどこにどこにあるのか、それに対して村の担当者への考えや、思いはどこにあるのかなどを気軽に話せる「語らいの場」を持ち、村と推進員の皆さんが一体となる雰囲気づくりが必要ではないか。

村の仕事を手伝っていただいたり事務的な活動は、その後の在り方ではないのか。

**健康福祉課長** そういった方法もあるかとは思いますが、推進員をお願いしての初年度、あまり過剰なお願いをしないよう、活動をしていただいている。



今年度は、各自治会での健康学習会の開催にご協力いただいている。

**質問** それにより、生活習慣病の発症予防や重症化予防に向け、多くの皆さんの現状への理解を深めていただくことから始めている。

**健康福祉課長** そういったことも、健康という切り口で当然今後考えていかなければならないと思っている。

**質問** 普段保育園を見ている中で、一生涯命やっている職員の皆さんの姿は、認めるところだ。

**答** しかし、今は3歳以上児も未満児も増え、また、保育要望も多様化するともに、加配も必要なクラスもあり、今後見合った保育が出来るのか。

**職員体制は、現状足りているのか。**

**子ども課長** 職員体制については、次年度の入園者がほぼ確定した時点で、臨床心理士の先生の意見も聞き、子どもの成長にとって最善の職員配置を考えてやっております、今は足りている。

**質問** 食を預かる調理現場の職員は不足気味ではないかと危惧する

**子ども課長** 多様化に



「楽しい給食」保育現場は適正体制で

# 職員数の10年前との比較は

## 答 介護・子育て部門で増加している

松下 亨議員



職員数・人件費等の推移

年度	26年度 但し人件費は 25年度	21年度	16年度
正規職員数	68	65	68
嘱託職員数	50	26	25
計	118	91	93
正規職員人件費総額(千円)	349,851	367,211	387,168
1人当り平均年額(千円)	5,300	5,649	5,531
平均年齢	40.9	42.6	40.3

**質問** 職員数について5年前・10年前と比べ推移はどのようになっているか。職員が増えた部署と理由は何か。また、人件費はどのようになっているか。

**総務課長** 職員数・人件費等の推移は別紙のとおり。今年と5年前を比較すると正規が3人、嘱託が24名増加している。理由は、リニア

対策室と各保育園へ園長を配置したこと、地域おこし協力隊員が3人、介護予防の充実で4人、保育園の未満児保育等で10人増加している。

**質問** 今後の職員の定員管理はどのように考えているか。

**村長** 課・係間の連携をとり、協力して無駄な人件費を使わないよ

う努力する。

**要望** 国の財政状況から、いつ何ときに緊縮財政を強いられるか危

**質問** 憲法第92条の地方自治体の実現を目指すこととされる地方自治の本旨、その主たる目的である「住民自治」とはどのように理解しているか。

**村長** 住んでいる人達の主体的な行動によって、住みよい地域を作り上げることと考えている。

**質問** 私は村の行政を行う場合、住民の意思と責任に基づいて行うと理解をしている。

憲法で求めている地方自治の本旨の実現のためには、最も大切な原則と言われる。村長はどう考えるか。

**村長** まったく同感だ。



率直な意見をお聞きした議会と村づくりを語る会

惧される。特に、職員

の定員管理は十分に配慮することを要望する。

**質問** 住民自治の現状と今後はどのように考えているか。

**村長** 区・自治会など地域で頑張っており

いただいている。今後は、役員職員と各地区との関わり方について方法を考える。

**提言** 前回の質問で自治基本条例は制定する考えはないとのこと。しかし、この条例は住民自治を進める上で最も重要な条例である。名実ともに村民が主体となった村づくりを進める上で、ぜひ制定するよう提言する。

# 委員会だより

## 総務産建委員会

**採択の理由**  
 現在村では、地震防災緊急整備に関わる事業は起債による緊急防災・減災事業債で対応

**審査の結果**  
 採択 賛成5  
 反対0

平成26年9月2日  
 議会にて附託  
 委員会審議

**参考資料**  
 特別措置に関する法律(趣旨)  
 第一条 この法律は、地震防災対策強化地域における地震防災対策の推進を図るため、地方公共団体その他の者が実施する地震対策緊急整備事業に係る経費に対する国の負担又は

**採択の理由**  
 協同組合組織は、組合員の自主的運営の中で組合員・会員に最大奉仕する民間組織だとしているが、JAGグループが近年そうした組織なのか組合員から見てもズレや疑問の声も聞

**審査の結果**  
 採択 賛成5  
 反対0

平成26年9月2日  
 議会にて附託  
 委員会審議



北部ブロック議員 県へ陳情活動

# リニア特別委員会

## リニア工事 10月にも着手が

・・・リニア特別委員会の活動報告・・・

リニア特別委員長 酒井浩文

### JR東海、国土交通大臣へ

#### リニア工実施計画の認可を申請

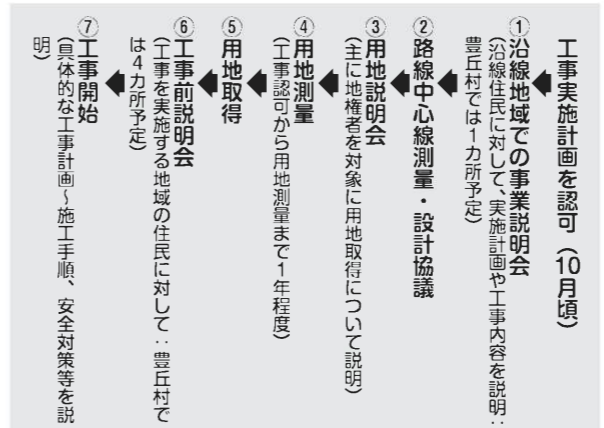
8月26日、JR東海はリニア中央新幹線環境影響評価書の補正版と、工事実施計画を国交省に提出しました。記者会見では、認可の見通しはまだ分からないとしたものの、着工の時期は認可後の地元への事業説明会などの必要な手続きや、作業(事業説明・中心線測量と設計作業・用地や工事の説明・用地取得・工事契約)を経てからという認識であり、手順を踏まないという考えを示しました。認可後、10月にも事業着手するという不確定な情報の中、「議会と村づくりを語る会」

### リニア中央新幹線 工事認可後の動き

でも、住民への情報不足や、着工後の不安などの意見が数多く聞かれました。今後増加することが予想されるJR画です。

東海からの情報を、速やかに村民の皆さんにお伝えできるよう、住民説明会を実施していく計画です。

実施計画の認可申請を受け、8月26日に開催した委員会では、工事認可後のスケジュールについて、リニア対策室より説明を受けました。(下図参照)



### 発生土処理地の現状 安全性が焦点に

9月18日の委員会で、8月26日に公告・縦覧開始した、環境影響調査書補正版のポイントについて説明を受け、意見交換を行いました。この中で、発生土の活用先候補地として先に村が提案した本山更生会周辺に残土を処理した場合の危険性が議論となりました。

またこれとは別に、JR東海から村へ提案された残土処理候補地2カ所(伴野原・戸中)についての説明を受けました。この中で、安全性を確かめるために類似環境の残土処分地の視察を行う意見が出され近く実施の予定です。併せて、飯田市のリニア駅周辺整備基本構想検討会議の報告があり、他県に比べ周辺整備計画が遅れている長野県や駅予定地の飯

田市の対応の遅さに対して多くの意見が出され、最近完成した北陸新幹線飯山駅から先の新駅の様子および、リニア岐阜県駅が予定されている中津川市の取り組みを視察し、比較の中から長野県と飯田市の取り組み状況を検証する計画もあり、年内にも実施の予定です。

具体的に動き出したリニア計画ですが、着工までには多くの手続が必要で、目で見える工事開始は2〜3年先の様子です。リニア特別委員会は「対策」と「活用」の両面から、今後も住民目線でリニア計画を注視していきます。また今後、住民参加の対策委員会設置の検討も始めますので、ご意見やご要望等お気軽にお近くの議員までお寄せください。

### 陳情2案件を採択

#### 陳情第6号

地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の期限延長を求める意見書提出に関する陳情

している。

これは、交付税措置率が高く、地震財法で財政上の特別措置を受けるより有利なためであるが、この緊急防災・減災事業債がいつまで継続されるのかわからないこともあり、地震財法の有効期限の延長は必要不可欠との考えから、陳情を採択した。

#### 陳情第7号

自主・自立を基本とする農業協同組合の維持・発展に関する内容を政府へ働き掛けを求める陳情

補助の割合の特例その他国の財政上の特別措置について定めるものとする。

かれる。

JAGグループ自身が組合員の意思決定を基本に自己改革の必要性を認め、自己改革に挑戦しようとしていることから、政府主導の改革より、政府はその自己改革の実現を後押しすることが重要として、委員会は採択とした。

#### 参考資料

農業協同組合法 第一条 この法律は、農民の協同組織の発達を促進し、以て農業生産力の増進と農民の経済的社会的地位の向上を図り、併せて国民経済の発展を期することを目的とする。

編集委員 吉川明博



# みんなの

# ペー ジ

## シリーズ

## 私がんばっています



久保田 諫さん  
(中芝)

9月上旬ご自宅を訪問し満  
州開拓における大変な体験を、  
語り部の久保田諫(いさむ)さ  
んにお聞きしました。

昭和5(1930)年1月3日下伊  
那郡河野村(現豊丘村河野)に生まれ  
る、84歳。昭和19(1944)年3月河  
野国民学校高等科修了。同年5月、  
満州国新京特別市石碑嶺(せきひれ  
い)第13次河野村開拓団へ15歳にて入  
植する、24戸95人。

昭和20(1945)年8月敗戦間際  
に団の男子は根こそぎ徴兵され、敗戦  
とともに河野村開拓団(婦女子)は避難  
を始め、その途中に集団自決に追いや  
られる。2人の女生残り(当時15歳)。  
他の一人は後に中国安東にて死亡。

久保田さんは3年間現地に残され、  
ソ連軍及び八路軍による強制労働に  
駆り出された後、いくつもの職を転々  
と渡りあるき、昭和23(1948)年7  
月31日帰国。帰国後は豊丘村河野にて  
煎餅屋(万年屋)を営み、後に建築業  
(大工)に30年間従事。河野に在住。

当時15歳の久保田さんらは旧満州  
(現中国東北部)の石碑嶺の河野村開  
拓団員95人中(男性大人は現地人暴動  
により死亡)女性や子供約70人は敗戦  
翌日の1945年8月16日深夜、逃

避行中のトウモロコシ畑で逃避不可  
能と判断し、現地人の暴行を回避する  
ため、集団自決をした。

帰国してからは集団自決の事を口  
外しなかつたのですが、18年ほど前、  
旧満州での体験を人ひと語り継い  
でいた元満州開拓団員に出会い、この  
集団自決を知っているたった一人の  
自分も後世に伝えなければと考え、2  
000年ころから年4回ほど集会な  
どで体験を話すようにした。

話すのは本当は嫌だが、これからも  
「こんな悲劇があった。」ということ  
を、元気なうちは1人でも多くの人に  
聞いてほしいので、頑張っていること  
と思う。とどこか遠くを見るような眼差  
しで当時の様子を話していただきま  
した。

その壮絶な体験談は何一つ割愛す  
ることができず、想定していたインタ  
ビューの時間を大幅に超えました。  
久保田さんや多くの戦争体験を、ど  
のように語り継いで行けばよいのか  
との思いを持ちながら、お暇しまし  
た。

### 編集後記

夏の長雨により、日本列  
島あちこちで災害が起き、  
また御嶽山噴火と痛ましい  
ことでした。

残暑もなく、一気に秋と  
なり、松茸も豊作。いよいよ  
期待と不安のリニアの中  
心線が判る時が来ました。議  
会も村と共に、課題に取組  
んでいきます。

◇村民待望の交流学習セン  
ター「ゆめあるて」の竣工  
を迎え、多くの村民の活用  
が望まれます。土足禁止の  
声も揚がりましたが、料理  
室をのぞき土足となります。  
◇各ご家庭に届いていると  
思いますが、議会基本条例  
を制定し、村民の皆様へ、  
10月31日お示しします。議  
会を知って頂き、村民のお  
声を聴く機会ですので、大  
勢の皆さま是非お出かけく  
ださい。(大原千賀子記)

発行責任者	久 豊
議長	下平 豊
編集委員会	久 亨
委員長	下井 亨
委員	松原 浩
副委員長	酒井 千賀
委員	大川 明
委員	吉原 啓
委員	唐澤 啓